



さんむ医療センター外科からヘルニアのお話です。

◆足の付け根がぼっこりしていませんか？

ふと気がついたら、下腹部／足の付け根あたりが膨らんでいる、といったことはありませんか？横になっているときには気にならないのに、立って動いていると痛みが出たり、反対側と比べて膨らんでいたり…それは鼠径ヘルニアかもしれません！

『脱腸』という言葉で耳なじみのある方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

◆ヘルニアって？どんな症状がでるの？

腹部におけるヘルニアとは、お腹の中から内臓が脱出してしまった状態を指します。鼠径ヘルニアの場合、腸や脂肪が、鼠径部（＝足の付け根付近）の筋肉の弱いところから外側へ出てしまうことにより、膨れたり、痛みが出たりします（痛くないこともあります）。常に膨らんでいることもあれば、立ったときだけ膨らむ、片方だけ膨らむ、両方膨らむなど症状はさまざまです。膨らみ方としても、反対側と比べてちょっと膨らむ程度から、睾丸がソフトボールほどに膨らむ程度まで、個人差があります。一般的には高齢の方に多いですが、乳幼児にも見られます。また、鼠径ヘルニア以外にも、以前手術した傷が膨らむ腹壁癒痕ヘルニア、おへそがぶよぶよと膨らむ臍ヘルニアなどもあります。

◆治療法は？

ヘルニアは、手術以外に治す方法はありません。わざわざ手術を受けてまで治す必要は無いのでは？と思われるかもしれませんが、脱出した腸が狭いところに挟まり（＝嵌頓）、血のめぐりが悪くなる（＝絞扼）と、腸が腐って生命に関わる事態となる可能性があります。そのため、基本的には手術をお勧めしています。

◆当院では腹腔鏡手術を行っています。

当院では、鼠径ヘルニアをはじめ、大腿ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、臍ヘルニア等のヘルニア疾患に対し、全身麻酔での腹腔鏡手術を行っています。お腹に5mm程度の穴を3箇所あけるだけなので、従来の方法に比べて傷の痛みも少なく、手術翌日には退院が可能です。

（全身麻酔が困難な方の場合には、腰椎麻酔（腰からの麻酔）や局所麻酔といった従来法での手術を行っています。）

◆小児にも対応しています。

小児外科医が常在していますので、小児のヘルニアについても手術を行っています。毎週火曜日の小児外科専門外来にてご相談ください。



▲腹腔鏡手術後のヘルニア創

地方独立行政法人さんむ医療センター

☎ さんむ医療センター ☎ 0475 (82) 2521 (代表番号)